

第1回協議会議事録要旨

項目	内容
交通結節機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・車の時代から、高齢化や環境問題に対応し、車に頼らなくても暮らせる街を議論することが必要 ・歩いて暮らせる街づくりの実現に向けた公共交通の組み合わせや、車中心の道路のあり方の見直しが必要 ・L R T導入の具体的意義の明確化、総合的な都市整備が必要 ・公共交通と車が安全に共存できる道路整備が必要 ・公共交通の現状と、将来の交通体系を含めた議論が必要 ・車のあり方や、P & Rの可能性なども検討すべき ・新幹線利用客による車によるアクセス増加を考慮すべき ・タクシーの機能を活かすとともに、マイカーのあり方を議論した計画が必要
空間機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ時代に対応し、公共交通や歩行を中心としたコンパクトな都市づくりが重要 ・南北一体化は人の居住やまちの拠点など総体としてのまちづくりで実現 ・高齢化や環境問題に対応し、車に頼らなくても歩いて暮らせる街づくりを議論する必要 ・富山のまちの魅力、使われ方などソフト面を重視すべき ・ユニバーサルデザインやバリアフリーの対応が重要 ・立山の景観やガラスの素材など富山らしさを活かした空間づくりによる特徴
都市拠点形成機能について	<ul style="list-style-type: none"> ・商業だけではなく、人の賑わい、都心に住んでもらうことでの活性化が大切 ・公が1を出し、民間が5の効果を生み出すような事業展開が求められる ・富山の中心商業地との役割分担などを踏まえた駅周辺の機能整備が重要 ・従来型でない富山市にあった連立関連事業の展開が必要 ・必ずしも駅に賑わいを取り戻せていない実態を踏まえた方策が必要 ・駅周辺整備に併せた再開発の推進 ・富山港線では駅の利便性が都心居住を推進している ・日本海交流に資する国際的な拠点性を備えたまちづくりが必要 ・環境の視点に配慮した駅周辺再開発のあり方を検討すべき